

令和3年度

日野市立七生緑小学校経営重点計画

自己評価シート

令和3年3月公表

★学校教育目標				多様な個性を尊重し、一人一人が輝く児童の育成				★重点計画の概要							
★目指す学校像（ビジョン）								○互いに思いやり助け合う態度の育成 ○自他の“いのち”を大切にし、自己肯定感を高める教育活動の実践 ○自分に合った多様な学びの創造 ○児童自ら課題を見つけ、探究し、協働して考えを深め合い、課題を解決していく「学びの循環」 ○地域をステージとする学びの充実 ○体を動かす楽しさや大切さを掘げ、身体活動を生涯にわたって楽しむ態度の育成							
【めざす児童・生徒像】				やさしい子（重点）　かしこい子　たくましい子											
【めざす学校像】				個性を発揮し合い子供が主役の楽しい学校											
【めざす教師像】				すべての“いのち”を守り、育む教師　子供一人一人を大切にしたい温かい学級をつくる教師　地域の人や組織とつながり教育活動を展開できる教師　学 び合いを大切に、創造的な教育活動を展開する教師　特別支援教育にかかわる専門的な知識・技能を身に付けた教師											

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の 意見	結果の分析と改善策		
				評価点	取組指標		評価点			成果指標	
いのち	すべての“いのち”が輝き、よろこびあふれる未来をひらく教育の推進	互いに思いやり助け合う態度を育て、様々な人とかかわる体験を重ねることにより、自他の“いのち”を大切にし、自己肯定感を高める教育活動を実践する。	毎学期の思いやり週間の実施と振り返り、日常的な道徳の授業の中で対話的な活動を中心に、自己理解、他者理解を深める。そして、学年の実態に応じた学級指導を通して、自他の「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成する。	4	4	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができたと回答した教員が90%以上	4	4	「自分の事も周りの友達の事も大切にすることができた」と回答した児童が90%以上	各学年ともに思いやり週間で自身の事、友達の事を大切にすることを学び、「いのち」の大切さを感じられ、道徳の授業でも意識できたのではないが、生活の中で道徳の学習等で学んだ事を形として行動に移してくれたら嬉しく思う。	コロナウイルスの感染拡大防止に注意しながら、今年度の活動ができた。ふれあい週間、道徳の授業を中心とした、「いのち」を大切にしている教育活動を行い、児童が相互に尊重し合う雰囲気を作られてきている。コロナ禍で制限のある生活が日常になりつつあるが、「いのち」の大切さを意識できるような活動を続けていく。
					3	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができたと回答した教員が85%以上		3	「自分の事も周りの友達の事も大切にすることができた」と回答した児童が85%以上		
					2	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができたと回答した教員が80%以上		2	「自分の事も周りの友達の事も大切にすることができた」と回答した児童が80%以上		
					1	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができたと回答した教員が80%未満		1	「自分の事も周りの友達の事も大切にすることができた」と回答した児童が80%未満		
			特別活動（たてわり活動・クラブ活動・委員会活動）や七生特別支援学校との交流等を通して、相手のことを考えながら行動したり、相手の良さに気が付いたりできるようにする。	4	4	特別活動、七生特別支援学校との交流を通して、他者理解を深められるよう指導をした教員が95%以上	3	4	「以前よりも友達（他者）への理解が深まったり、友達の良さに気付いたりした」と回答した児童が85%以上	たてわり活動・クラブ活動・委員会活動や七生特別支援学校との交流等を通してこうなりたいと目標を見つげたり、こうすれば喜んでもらえたり、役に立てるという気付きがある。子供たちにとっては、とても大切な学びの場だと思うので、今後も継続してほしい。活動の制限も多いと思うが、昨年度に比べて色々な活動が体験できたことは良かった。	コロナ対策をしながら活動時間を増やし、昨年度より児童同士が関わり合う活動ができた。たてわり活動や集会など児童が楽しむ活動は継続して残った。6年生が下級生を大事にしたい気持ちをもつことができており、常日頃から異年齢での関わりができた。感染対策をしながら工夫して活動していくことが大事である。
					3	特別活動、七生特別支援学校との交流を通して、他者理解を深められるよう指導をした教員が90%以上		3	「以前よりも友達（他者）への理解が深まったり、友達の良さに気付いたりした」と回答した児童が80%以上		
					2	特別活動、七生特別支援学校との交流を通して、他者理解を深められるよう指導をした教員が85%以上		2	「以前よりも友達（他者）への理解が深まったり、友達の良さに気付いたりした」と回答した児童が75%以上		
					1	特別活動、七生特別支援学校との交流を通して、他者理解を深められるよう指導をした教員が85%未満		1	「以前よりも友達（他者）への理解が深まったり、友達の良さに気付いたりした」と回答した児童が75%未満		
学び	一人一人を大切にしたい多様な学びの実現	児童自ら課題を見つけ、探究し、協働して考えを深め合い、課題を学び合いながら解決していく「学びの循環」を実践する。	教員の「一人一授業」、研究授業の取り組みを通して、児童が主体的に学び続けるための「問い」や「仕掛け」を研究する。対話に必然性をもたせ、対話的な学びを通して、児童が自己の考えを広げ深められるようにする。	2	4	一人一授業の取り組みを通して、児童が主体的に学び続けるための「問い」や「仕かけ」を研究することができたと回答した教員が95%以上	3	4	「友達の考えを聞いたり、自分の考えを言ったりすることで、新しい考えに気付いたり、自分の考えが深まったりした」と答えた児童が90%以上	今後も考え、協働し、そして、人前でプレゼンや作品をPRできるよう場をたくさん作って欲しい。教員不足の中、「一人一授業」を広めていくのは難しいところもあると思うが、授業研究を通じて、児童が主体的に学び続けるための工夫を取り入れていけることを期待している。	研究授業を通して、教員が児童の主体的な対話について考え、共有することができた。一人一授業については全員が授業を行ったり公開したりできていないので、教員の学びの場を設定する工夫が必要である。また、対話を通して理解が深まったように感じた児童がさらに増えるよう、引き続き積極的に対話の工夫を授業に取り入れていく必要がある。
					3	一人一授業の取り組みを通して、児童が主体的に学び続けるための「問い」や「仕かけ」を研究することができたと回答した教員が90%以上		3	「友達の考えを聞いたり、自分の考えを言ったりすることで、新しい考えに気付いたり、自分の考えが深まったりした」と答えた児童が85%以上		
					2	一人一授業の取り組みを通して、児童が主体的に学び続けるための「問い」や「仕かけ」を研究することができたと回答した教員が85%以上		2	「友達の考えを聞いたり、自分の考えを言ったりすることで、新しい考えに気付いたり、自分の考えが深まったりした」と答えた児童が80%以上		
					1	一人一授業の取り組みを通して、児童が主体的に学び続けるための「問い」や「仕かけ」を研究することができたと回答した教員が85%未満		1	「友達の考えを聞いたり、自分の考えを言ったりすることで、新しい考えに気付いたり、自分の考えが深まったりした」と答えた児童が80%未満		
			「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」	4	4	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」	4	4	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」	市内には地域活動をしているトップアスリートの団体が多数存在している。今後も積極的にトップアスリートの運動教室を開催してほしい。運動の学びは直接体験が第一で、そこからトライ＆エラーをし、個人もしくは集団での達成感の繰り返しのサイクルをアレンジしていく事が大切で、そのような形で学習を進めてほしい。	コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、制限がある中で実施できた。例年に比べ、体験的に学び様々な運動に触れる機会は減ったものの、なわとび週間に体育委員がなわとびを教える等、体験的な取り組みを行った。また、人と競うことよりも、自分で目標を設定し、それを達成できるよう頑張る姿が多く見られた。このことから、90%以上の児童が、体を動かすことが楽しかったと感じることができたと思われる。
					3	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」		3	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」		
					2	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」		2	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」		
					1	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」		1	「地域や地域の人が活躍できる場をつくる。地域に誇りをもてる活動を行う。」		

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。